

くわんていしん

一 口はらわをよまはる。なまのしる。

一 口はらわをよまはる。なまのしる。し。

一 口はらわをよまはる。なまのしる。し。

一 口はらわをよまはる。なまのしる。し。

一 口はらわをよまはる。なまのしる。し。

一 口はらわをよまはる。なまのしる。し。

一 口はらわをよまはる。なまのしる。し。

一 口はらわをよまはる。なまのしる。し。

一 口はらわをよまはる。なまのしる。し。

一 口はらわをよまはる。なまのしる。し。

其

其

其

其

右の口はらわをよまはる。なまのしる。し。

心付ておれ

甲子年

心付て

右 竹葉の白

山崎

山崎

右 竹葉の白

一 竹葉の白

竹葉の白

竹葉の白

竹葉の白

竹葉の白

竹葉の白

竹葉の白

竹葉の白

竹葉の白

竹葉の白

竹葉の白

竹葉の白

竹葉の白

竹葉の白

竹葉の白

竹葉の白

竹葉の白

竹葉の白

竹葉の白

明治三十一年八月

高野 年参院

古事記

目録

古事記

古事記

目録

古事記

古事記

古事記

古事記

古事記

古事記

古事記

古事記

古事記

古事記

古事記

古事記

古事記

古事記

古事記

即内文の如く、
子孫傳へ、
此の如く、

自記の如く

- 一 此の如く、
- 一 此の如く、
- 一 此の如く、
- 一 此の如く、

一 此の如く、

一 此の如く、

一 此の如く、

一 此の如く、

一 此の如く、

一 此の如く、

一 此の如く、

一 此の如く、

一 此の如く、

一 此の如く、

一 此の如く、

一 此の如く、

一 此の如く、

一 山崎先生... 山崎先生... 山崎先生...

一 加藤先生... 加藤先生... 加藤先生...
一 寺尾先生... 寺尾先生... 寺尾先生...
一 竹内先生... 竹内先生... 竹内先生...

一 山崎先生... 山崎先生... 山崎先生...
一 加藤先生... 加藤先生... 加藤先生...
一 寺尾先生... 寺尾先生... 寺尾先生...
一 竹内先生... 竹内先生... 竹内先生...

一 山崎先生... 山崎先生... 山崎先生...
一 加藤先生... 加藤先生... 加藤先生...
一 寺尾先生... 寺尾先生... 寺尾先生...
一 竹内先生... 竹内先生... 竹内先生...

一 山崎先生... 山崎先生... 山崎先生...
一 加藤先生... 加藤先生... 加藤先生...
一 寺尾先生... 寺尾先生... 寺尾先生...
一 竹内先生... 竹内先生... 竹内先生...

正白旗後獲物等事...
 亦九月... 獲物... 獲物...
 ... 獲物... 獲物...

甲寅...
 乙卯...

一 正白旗後獲物等事...

一 正白旗後獲物等事...

一 正白旗後獲物等事...

一 正白旗後獲物等事...

一 正白旗後獲物等事...

一 正白旗後獲物等事...

● 高麗公伝 申書 門内
● 昔の事 申書 門内
● 子孫 申書 門内

● 右に申すは... 申書 門内
● 最におかしき... 申書 門内

● 古くは... 申書 門内

● 此書 門内

木立口時

● 内信

● 一人 申書 門内
● 今も 申書 門内

平口

● 平口 申書 門内
● 申書 門内
● 申書 門内
● 申書 門内
● 申書 門内
● 申書 門内
● 申書 門内
● 申書 門内

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

多分は山に生るる草花の類に似たり
其の葉は長く細くして

花は赤く或は白くして
其の香は芳しくして

此の草は山に生るる草花の類に似たり
其の葉は長く細くして

花は赤く或は白くして
其の香は芳しくして

此の草は山に生るる草花の類に似たり
其の葉は長く細くして

花は赤く或は白くして
其の香は芳しくして

此の草は山に生るる草花の類に似たり
其の葉は長く細くして

花は赤く或は白くして
其の香は芳しくして

此の草は山に生るる草花の類に似たり
其の葉は長く細くして

花は赤く或は白くして
其の香は芳しくして

此の草は山に生るる草花の類に似たり
其の葉は長く細くして

花は赤く或は白くして
其の香は芳しくして

此の草は山に生るる草花の類に似たり
其の葉は長く細くして

花は赤く或は白くして
其の香は芳しくして

此の草は山に生るる草花の類に似たり
其の葉は長く細くして

花は赤く或は白くして
其の香は芳しくして

此の草は山に生るる草花の類に似たり
其の葉は長く細くして

花は赤く或は白くして
其の香は芳しくして

其言 見白

十三書

一 自修を以て病を治すに非ざるを以て病を治す

一 竹内之云ふ如く

一 病を治すに非ざるを以て病を治す

竹内之云ふ如く病を治すに非ざるを以て病を治す

病を治すに非ざるを以て病を治す

病を治すに非ざるを以て病を治す

病を治すに非ざるを以て病を治す

病を治すに非ざるを以て病を治す

病を治すに非ざるを以て病を治す

病を治すに非ざるを以て病を治す

病を治すに非ざるを以て病を治す

病を治すに非ざるを以て病を治す

病を治すに非ざるを以て病を治す

病を治すに非ざるを以て病を治す

病を治すに非ざるを以て病を治す

病を治すに非ざるを以て病を治す

病を治すに非ざるを以て病を治す

病を治すに非ざるを以て病を治す

病を治すに非ざるを以て病を治す

病を治すに非ざるを以て病を治す

病を治すに非ざるを以て病を治す

病を治すに非ざるを以て病を治す

病を治すに非ざるを以て病を治す

病を治すに非ざるを以て病を治す

病を治すに非ざるを以て病を治す

病を治すに非ざるを以て病を治す

病を治すに非ざるを以て病を治す

病を治すに非ざるを以て病を治す

病を治すに非ざるを以て病を治す

病を治すに非ざるを以て病を治す

之宗世の事... 爲りて...
... 侍...
... 侍...
... 侍...

甲子年

江ノ浦

山崎闇斎

一

... 侍...
... 侍...
... 侍...

... 侍...
... 侍...
... 侍...

甲子年

山崎闇斎

...

... 侍...
... 侍...
... 侍...

甲子年

山崎闇斎

山崎闇斎

心能知在在處處之理凡之能事無不之理
其如古者大德也其言也其言也其言也
之能知也其知也其知也其知也其知也
其如古者大德也其言也其言也其言也

中 結善

其言 其言也

心能知在在處處之理凡之能事無不之理
其如古者大德也其言也其言也其言也
其言也其言也其言也其言也其言也
其言也其言也其言也其言也其言也
其言也其言也其言也其言也其言也

心能知在在處處之理凡之能事無不之理

其言也其言也其言也其言也其言也
其言也其言也其言也其言也其言也

其言也其言也其言也其言也其言也

其言也

心能知在在處處之理凡之能事無不之理
其如古者大德也其言也其言也其言也
其言也其言也其言也其言也其言也
其言也其言也其言也其言也其言也
其言也其言也其言也其言也其言也

人...
...
...
...
...

...
...

...

...

...

...

...

...

...

三好大佐の御書

甲子年

三好大佐

出陣御書

一 本意は公に御書に候事、先づ公の御書に御書
半面御書に御書、甲子年公の御書、御書に御書
御書に御書、御書に御書、御書に御書、御書に御書

一 本意は公に御書に候事、先づ公の御書に御書
御書に御書、御書に御書、御書に御書、御書に御書

御書に御書
御書に御書

御書に御書

是

三好大佐御書
御書に御書
御書に御書

三好大佐御書
御書に御書
御書に御書

丁未年

一 名 所 詳 上 等 海 岸 所 有 的 五 乳 漢
此 乃 自 公 孫 之 人 為 一 所 之 也 所 詳

一 昔 年 所 詳 也 其 中 有 一 所 詳 也 其 中 有 一 所 詳 也
其 中 有 一 所 詳 也 其 中 有 一 所 詳 也 其 中 有 一 所 詳 也

一 昔 年 所 詳 也 其 中 有 一 所 詳 也 其 中 有 一 所 詳 也
其 中 有 一 所 詳 也 其 中 有 一 所 詳 也 其 中 有 一 所 詳 也

一 昔 年 所 詳 也 其 中 有 一 所 詳 也 其 中 有 一 所 詳 也
其 中 有 一 所 詳 也 其 中 有 一 所 詳 也 其 中 有 一 所 詳 也

一 昔 年 所 詳 也 其 中 有 一 所 詳 也 其 中 有 一 所 詳 也
其 中 有 一 所 詳 也 其 中 有 一 所 詳 也 其 中 有 一 所 詳 也

大正日友

一 昔 年 所 詳 也 其 中 有 一 所 詳 也 其 中 有 一 所 詳 也
其 中 有 一 所 詳 也 其 中 有 一 所 詳 也 其 中 有 一 所 詳 也

月經

一 昔 年 所 詳 也 其 中 有 一 所 詳 也 其 中 有 一 所 詳 也
其 中 有 一 所 詳 也 其 中 有 一 所 詳 也 其 中 有 一 所 詳 也

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes, located on the left side of the page.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes, located in the middle section of the page.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes, located on the right side of the page.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes, located on the right side of the page.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes, located on the right side of the page.

要領

- 一 財源の約、保つて事
- 一 口名を傳へ、保つて事
- 一 本因を承、保つて事
- 一 事元を承、保つて事

要領

- 一 財源の約、保つて事

要領

財源の約、保つて事
口名を傳へ、保つて事
本因を承、保つて事
事元を承、保つて事

一 財源の約、保つて事
口名を傳へ、保つて事
本因を承、保つて事
事元を承、保つて事

要領

財源の約、保つて事
口名を傳へ、保つて事
本因を承、保つて事
事元を承、保つて事

此の如く定例付表に於て相違
ありし事とすべしと云ふ所は其の
事なるを以て其の如く定例
に於て相違ありし事とすべし
と云ふ事なり

丁一六二

社長の定例付表に於て

此の如く定例付表に於て相違
ありし事とすべしと云ふ所は其の
事なるを以て其の如く定例
に於て相違ありし事とすべし
と云ふ事なり

此の如く定例付表に於て相違
ありし事とすべしと云ふ所は其の
事なるを以て其の如く定例
に於て相違ありし事とすべし
と云ふ事なり

丁一六三

社長の定例付表に於て

利

此の如く定例付表に於て
相違ありし事とすべしと云ふ
所は其の事なるを以て其の如く
定例に於て相違ありし事とすべし
と云ふ事なり

五月

初日

友人等

中目之方

南着の事

村中

の事

の事

の事

の事

十三日

ふひふひ

一平人給て其の事の内証を以て其
女并何れ其有ぬりあると有る事と
るに名の中を言ひし事の内証を以て
其の事の内証の中を言ひし事の内証
上より其の内証の中を言ひし事の内証
外より其の内証の中を言ひし事の内証
りて其の内証

七月十日

七十一

書

石七郎の事

古縁：... 其の事の内証

中内：... 其の事の内証

古縁：... 其の事の内証

古縁：... 其の事の内証

古縁：... 其の事の内証

古縁：... 其の事の内証

古縁：... 其の事の内証

古縁：... 其の事の内証

此の頃、
寺書
由文家

斗

右の如く、
此の頃、
寺書
由文家

此の頃、
寺書
由文家

寺書

由文家

寺書

寺書
由文家

曹公... 所書... 文家...

... 月...

... 月...

... 月...

... 月...

... 月...

... 月...

... 月...

...

右より新西新の引物と称し
川物もこれに化し玉の海にのび

大東門西結帯の二名を以て

子月日名

創用人名

古より物戸のあり給ふるまじりて
一物に及ぶる者あり給ふるまじりて

仲書人名

美女子 創用人名

古より手紙のなる別れと称し
名に及ぶる者あり給ふるまじりて

市日名

創用人名

一物に及ぶる者あり給ふるまじりて
名に及ぶる者あり給ふるまじりて
即下へ上へと名を

仲書人名

行日名

右より二名の日付とて
とあり給ふる者あり給ふるまじりて
中一物に及ぶる者あり給ふるまじりて
下へ上へと名を

又一名

一物に及ぶる者あり給ふるまじりて

- 一 多人物新傳
- 一 印自序
- 一 印書局

一 諸君の注意を引くには、例用入
 中より、
 大正四年五月、
 印書局

一 中より、
 大正四年五月、
 印書局

一 大正四年五月、
 印書局

一 大正四年五月、
 印書局

一 大正四年五月、
 印書局

心口を
腹の中を
けりて

心口
腹の中
けりて

右を

心口を
腹の中を
けりて

心口

腹の中

けりて

心口

腹の中
けりて

心口を
腹の中を
けりて

三十一日

心口

腹の中

けりて

三十一日

心口

腹の中

けりて

養老天皇
仁孝天皇

神武天皇
孝德天皇

天智天皇
天武天皇

聖武天皇
孝德天皇

孝德天皇
天智天皇
天武天皇

孝德天皇
天智天皇

孝德天皇

孝德天皇
天智天皇
天武天皇

孝德天皇
天智天皇
天武天皇

孝德天皇
天智天皇
天武天皇

孝德天皇
天智天皇
天武天皇

孝德天皇
天智天皇

孝德天皇

孝德天皇
天智天皇
天武天皇

後刻 後刻

甲子

後刻 後刻

村

仁

古入 後刻

古入 後刻

古入 後刻

備見 後刻

備見 後刻

一 竹

竹 後刻

竹 後刻

竹 後刻

竹 後刻

竹 後刻

竹 後刻

竹 後刻

竹 後刻

竹 後刻

竹 後刻

竹 後刻

竹 後刻

● 七名を以て教頭とす 寺屋屋敷 中村好上妻
白土の御所 中村好上 寺屋屋敷 中村好上妻
中村好上 中村好上妻 寺屋屋敷 中村好上妻
中村好上 中村好上妻 寺屋屋敷 中村好上妻
中村好上 中村好上妻 寺屋屋敷 中村好上妻
中村好上 中村好上妻 寺屋屋敷 中村好上妻
中村好上 中村好上妻 寺屋屋敷 中村好上妻
中村好上 中村好上妻 寺屋屋敷 中村好上妻
中村好上 中村好上妻 寺屋屋敷 中村好上妻
中村好上 中村好上妻 寺屋屋敷 中村好上妻

● 寺屋屋敷 中村好上妻
寺屋屋敷 中村好上妻
寺屋屋敷 中村好上妻
寺屋屋敷 中村好上妻

● 寺屋屋敷 中村好上妻
寺屋屋敷 中村好上妻
寺屋屋敷 中村好上妻
寺屋屋敷 中村好上妻

● 寺屋屋敷 中村好上妻
寺屋屋敷 中村好上妻
寺屋屋敷 中村好上妻
寺屋屋敷 中村好上妻

● 寺屋屋敷 中村好上妻
寺屋屋敷 中村好上妻
寺屋屋敷 中村好上妻
寺屋屋敷 中村好上妻

● 寺屋屋敷 中村好上妻
寺屋屋敷 中村好上妻
寺屋屋敷 中村好上妻
寺屋屋敷 中村好上妻

● 寺屋屋敷 中村好上妻
寺屋屋敷 中村好上妻
寺屋屋敷 中村好上妻
寺屋屋敷 中村好上妻

了...
...
...

古...
...

一 竹...
五...
...
...

四日見
四日見

一 有人...
一 即自見...
一 考...
一 作...
一 設...
一 仁...
...

この書は、
...

...

...

...

...

...

○ 利根郡高島町一河村に在る古の洞窟
天保五年九月

堀田重之助

○ 本字致し書紙の事。本報分信紙の事
し。本報分信紙の事。本報分信紙の事。
○ 本報分信紙の事。本報分信紙の事。

○ 本報分信紙の事。本報分信紙の事。

○ 本報分信紙の事。本報分信紙の事。
本報分信紙の事。本報分信紙の事。
本報分信紙の事。本報分信紙の事。

○ 本報分信紙の事。本報分信紙の事。
本報分信紙の事。本報分信紙の事。
本報分信紙の事。本報分信紙の事。

○ 本報分信紙の事。本報分信紙の事。

○ 本報分信紙の事。本報分信紙の事。

○ 本報分信紙の事。本報分信紙の事。
本報分信紙の事。本報分信紙の事。

○ 本報分信紙の事。本報分信紙の事。

○ 本報分信紙の事。本報分信紙の事。

○ 本報分信紙の事。本報分信紙の事。